

# Telnet セッションの設定 - Cisco ONS 15454 ML シリーズ カード

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[MLシリーズカードの初期設定](#)

[コンソールポートを介した初期MLシリーズカード設定の作成](#)

[CTCによる初期MLシリーズカード設定の作成](#)

[Telnetセッション](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、Cisco ONS 15454 のマルチレイヤ ( ML ) シリーズ カードに Telnet 接続を確立する方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco ONS 15454
- Cisco ONS 15454 ML シリーズ イーサネット カード
- Cisco IOS(R) ソフトウェア

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Cisco ONSリリース4.6.0が稼働するCisco ONS 15454
- Cisco IOSソフトウェアリリース12.1(19)EO1が稼働するML(ONS 4.6.0リリースの一部としてバンドル)。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 ( デフォルト ) 設定の状態から起動しています

。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

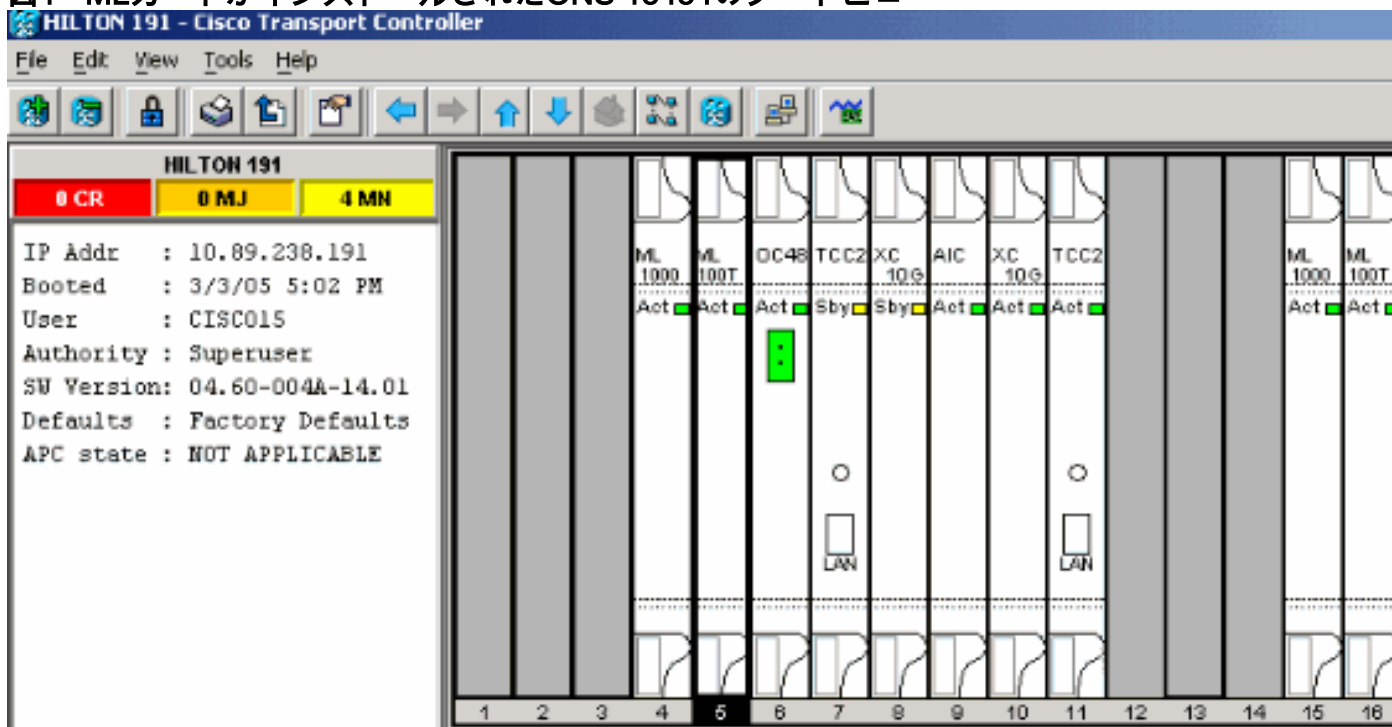
## 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

## 背景説明

図1に、MLシリーズカードがインストールされたONS 15454のノードビューを示します。このノードには4つのMLシリーズカードが取り付けられており、そのうち2つはML 1000カードで、2つはML 100Tカードです。

図1 - MLカードがインストールされたONS 15454のノードビュー



## MLシリーズカードの初期設定

MLシリーズカードへのTelnetセッションを確立する前に、MLシリーズカードの最小設定をセットアップする必要があります。これを実現するには2つの方法があります。

- 方法1：コンソールポート経由
- 方法2: Cisco Transport Controller(CTC)経由

## コンソールポートを介した初期MLシリーズカード設定の作成

コンソールポートからMLシリーズカードを設定するには、次の手順を実行します。

1. コンソールケーブルを入手します。
2. ケーブルのRJ-11側をMLシリーズカードのコンソールポートに接続します。
3. ケーブル(DB-9)のもう一方の端をPCのシリアルポートに接続します。

- COMポートを介して動作するように、HyperTerminalなどのターミナルエミュレータを設定します。
- 次の設定に一致するように、ターミナルエミュレータのデータレートと文字フォーマットを設定します。9600 ボー8 データ ビット1 ストップ ビットパリティなし
- デフォルトのルータプロンプトがユーザモードで表示されるまで、PCでEnterキーを何度かクリックします。
- enableと入力して、有効モードに入ります。
- configure terminalと入力し、グローバルコンフィギュレーションモードに入ります。
- グローバルコンフィギュレーションモードでホスト名を作成します。

```
hostname <host name>
```

- グローバルコンフィギュレーションモードを維持したまま、イネーブルシークレットパスワードを作成します。

```
enable secret <password>
```

- 回線設定モードに入り、仮想端末パスワードを作成します。このパスワードはTelnet用です。

```
line vty 0 4
password <password>
```

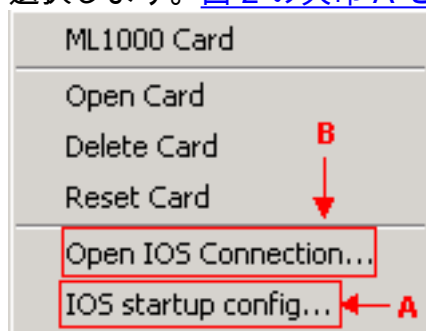
## CTCによる初期MLシリーズカード設定の作成

Cisco Transport Controller(CTC)を使用してMLカードの初期設定を作成するには、次の手順を実行します。

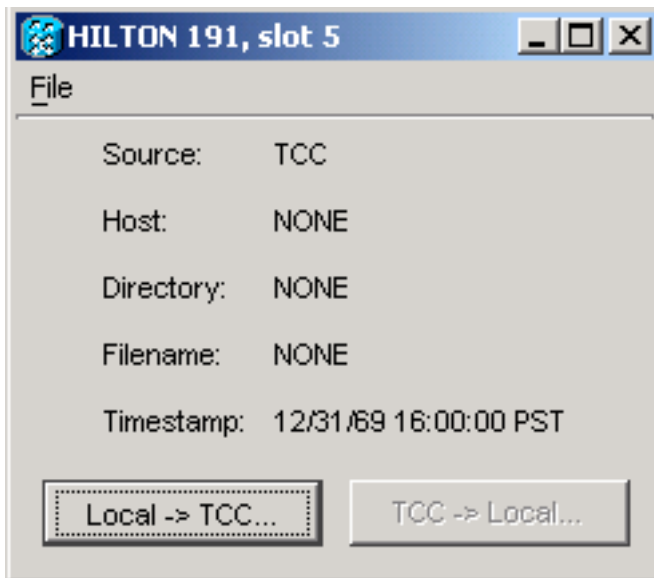
- Timing Communications and Control 2カード(TCC2)に初期設定ファイルをロードします。次のステップを実行します。MLカード用にconfig-1という名前の最小コンフィギュレーションファイルを作成します。

```
hostname <host name>
enable secret <password>
line vty 0 4
password <password>
end
```

スロット4のMLカードを右クリックし、ショートカットメニューから[IOS startup config]を選択します。図2の矢印Aを参照してください。図2 - IOS startup configオプションの選択



IOS startup configオプションを選択すると、ウィンドウが表示されます。図3を参照してください。Local > TCCの順に選択します。図3 - [Local] >

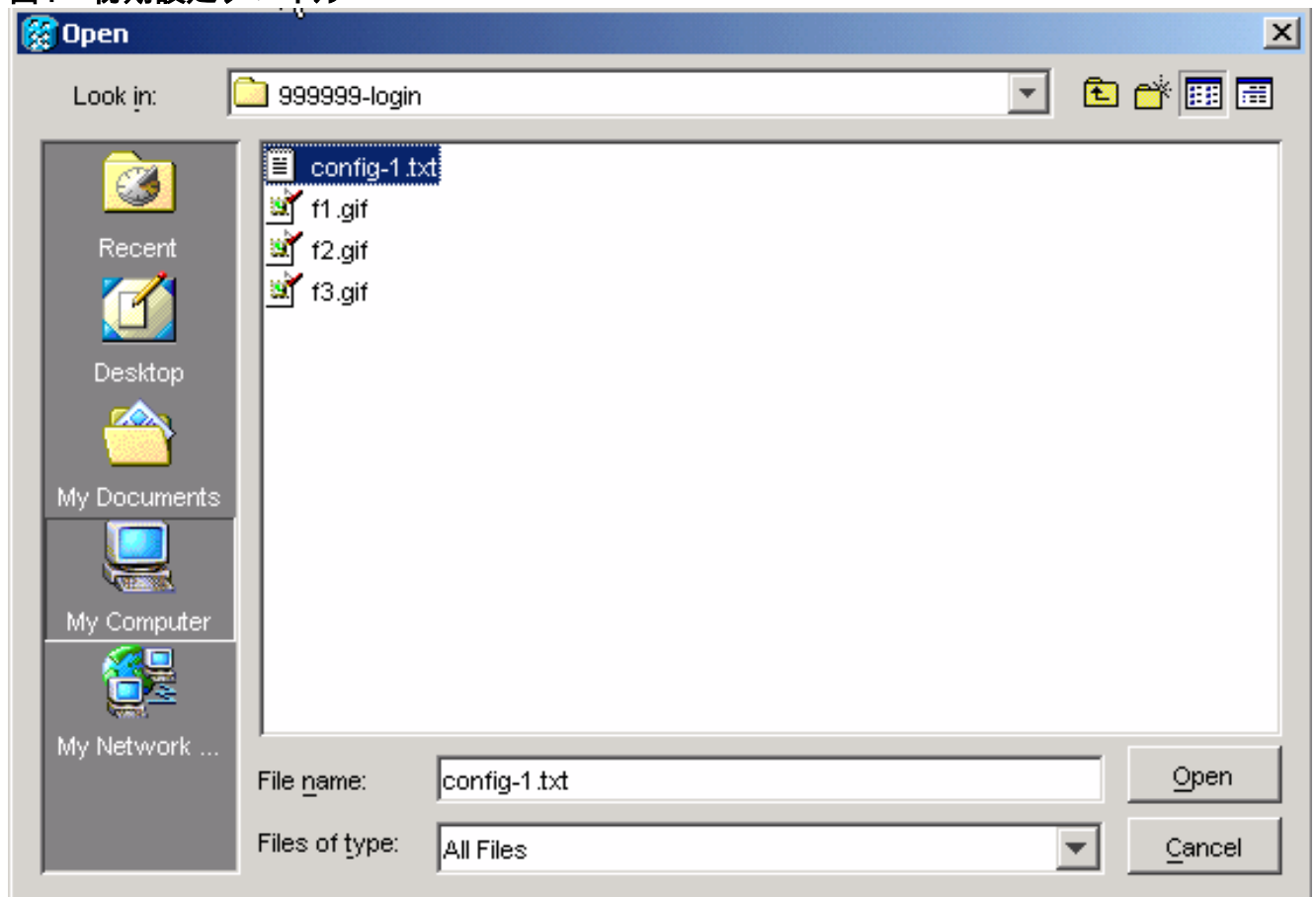


[TCC]を選択

[開く]ダイアログボックスが表示

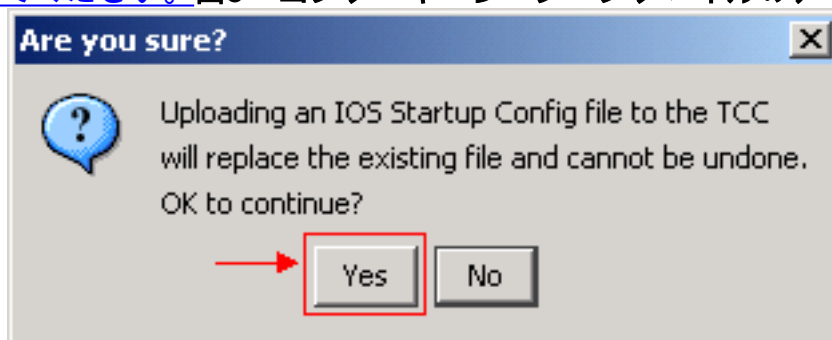
されます。ステップ1で作成した初期設定ファイルに移動します。図4を参照してください。

図4 – 初期設定ファイル



[Open] をクリックします。操作が確実であることを確認するメッセージが表示されます。

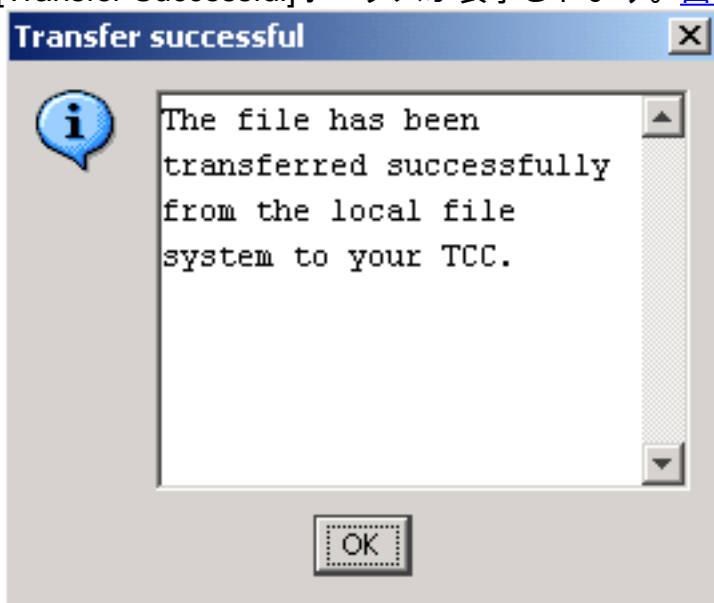
図5を参照してください。図5 – コンフィギュレーションファイルのアップロードを確認す



るプロンプト

[Yes] をクリックし

ます。[Transfer Successful]ボックスが表示されます。[図6を参照してください。](#) **図6 – 転送**



が成功

2. TCCからMLカードに初期設定をダウンロードするには、スロット4のMLカードをリセットします。

## Telnetセッション

Telnet接続を確立するには、次の方法があります。

- IPアドレス ( 2000 +スロット番号 ) にTelnetします。
- 事前設定された管理ポートにTelnet接続します。
- CTCでセッションを開きます。

ONS 15454のIPアドレスが10.89.238.191で、MLカードがスロット5にある場合は、次の手順を実行します。

1. [Start] > [Run] を選択します。[Run] ダイアログボックスが表示されます。
2. [ファイル名を指定して実行]ダイアログボックスの[ファイル名を指定して開く]フィールドにcmdと入力し、[Enter]をクリックします。DOSウィンドウが表示されます。
3. telnet 10.89.238.191 2005コマンドを発行します。[図7を参照してください。](#) **図7 - Telnetコマンドの発行**



パスワードプロンプトが表示されます。[図8を参照してください。](#) **図8 – パスワードプロンプト**



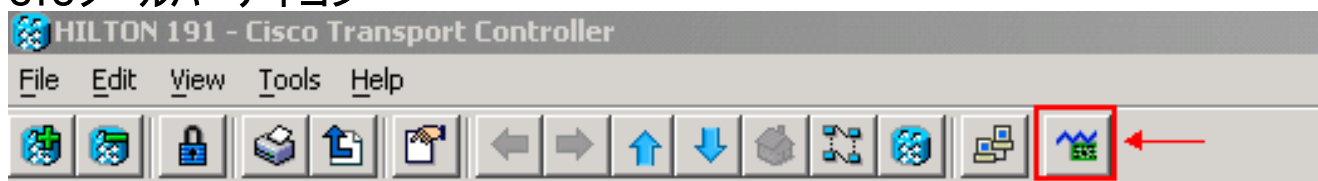
4. 初期設定時に仮想端末に割り当てられたパスワードを入力します。

管理インターフェイスを介してMLシリーズカードにアクセスする場合は、直接接続しているか、同じネットワーク上に存在している必要があります。MLシリーズカードの管理インターフェイスのIPアドレスを10.10.10.1に設定している場合は、**telnet 10.10.10.1**コマンドを発行して、Telnetセッションを設定します。

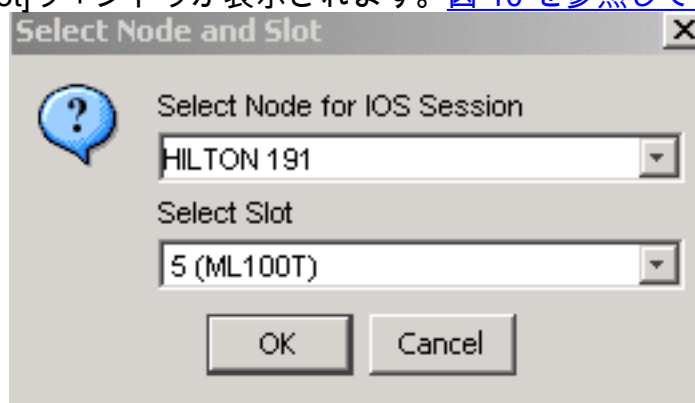
CTCからMLシリーズカードにアクセスするには、15454ノードビューからMLシリーズカードを右クリックし、ショートカットメニューから[Open IOS Connection]を選択します。[図 2 の矢印 B を参照してください。](#)

または、ツールバーの[Open IOS Connection]アイコンを使用することもできます。この場合、次の手順を実行します。

1. [Open IOS Connection]アイコンをクリックします。[図9の矢印を参照してください。](#) **図9 - CTCツールバーアイコン**

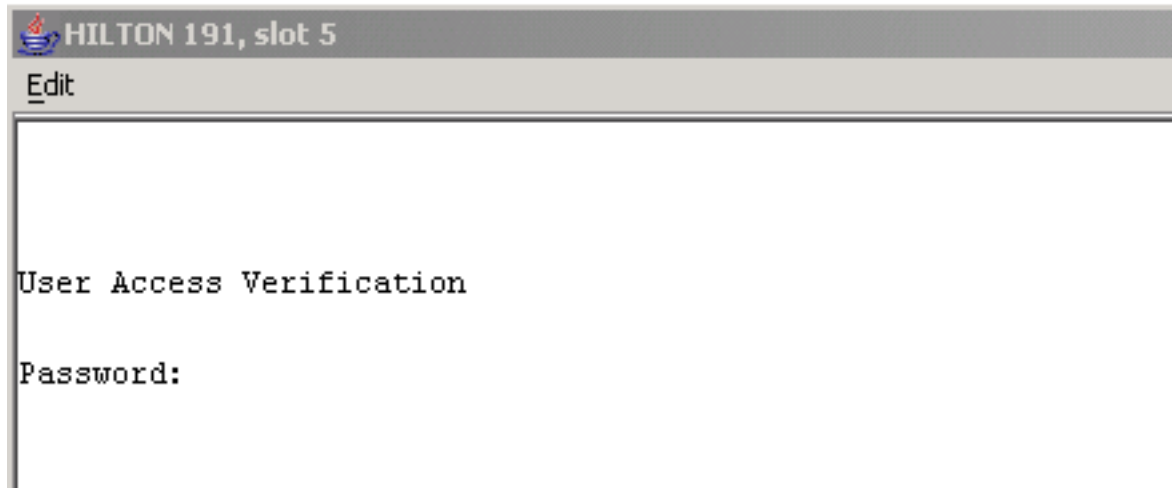


[Select Node and Slot]ウィンドウが表示されます。[図 10 を参照してください。](#) **図10 - ノー**



#### ドとスロットの選択

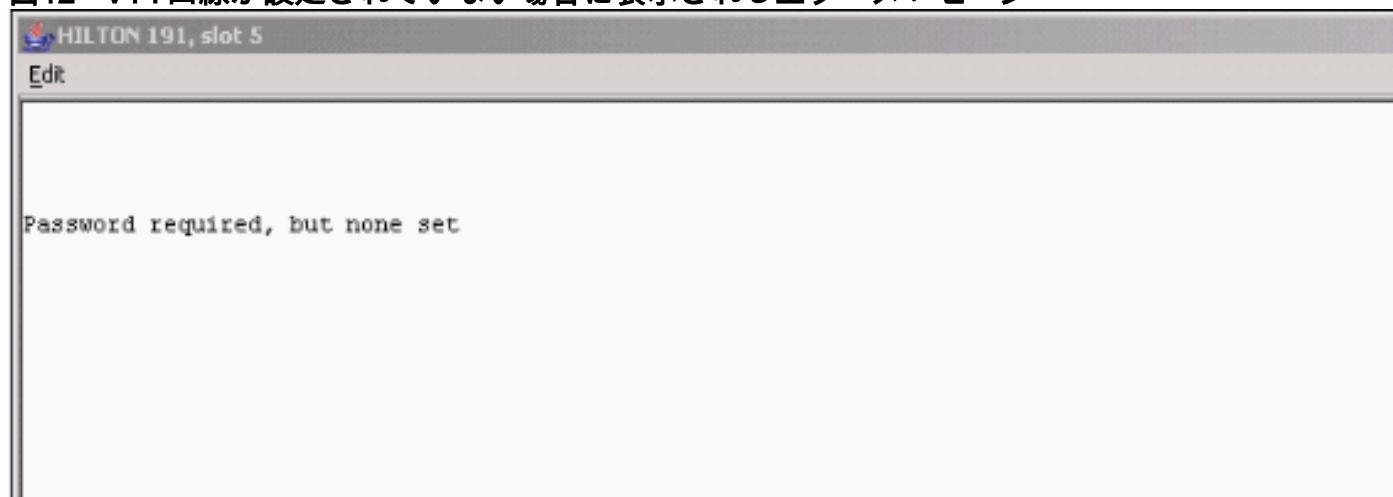
2. [Select Node for IOS Session]リストから必要なノードを選択します。[Select Slot]リストから必要なスロットを選択します。
3. [OK] をクリックします。[User Access Verification]ウィンドウが表示されます。[図 11 を参照してください。](#) **図11 - MLシリーズカードのIOS接続**



4. パスワードを入力し、[Enter]をクリックします。

セキュリティ対策として、最初にTelnetが使用するvty回線が完全には設定されていません。Telnetアクセスを取得するには、シリアルコンソール接続を介してvty回線を設定するか、vty回線を設定するスタートアップコンフィギュレーションファイルをロードする必要があります。失敗すると、Telnetセッションにエラーメッセージが表示されます。図 12 を参照してください。

図12 - VTY回線が設定されていない場合に表示されるエラーメッセージ



## [関連情報](#)

- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)